

令和 6 年度 施策評価表

施策	1602 観光客受入体制の整備	施策担当部	産業振興部	部長	浦山 優
		施策担当課	観光振興課	課長	富永 彰
施策の方針	自然や歴史を活かした観光地の魅力向上や、Wi-Fi環境等の整備に努める。また、情報発信やプロモーション活動の強化を図るとともに、観光推進体制の充実と人材育成に努める。				
関連するSDGsのゴール	  				

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R5年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 市内主要観光施設の入場者数	人/年	650,000	660,000 550,224	670,000 612,493	680,000 652,573	690,000	700,000	96.0%	93.2%
② 外国人宿泊者数	人/年	7,226	7,484 213	7,613 310	7,742 986	7,871	8,000	12.7%	12.3%
③ 観光ボランティアガイドの会員数	人	24	26 18	26 18	27 17	28	30	63.0%	56.7%
④									
⑤									

施策達成状況の説明

- ① 「市内主要観光施設の入場者数」は目標値を下回ったものの、令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、人流が活発化し前年度実績値を上回り、回復基調にある。  
※市内主要観光施設～大村公園、野岳湖公園、琴平スカイパーク、裏見の滝自然花苑
- ② 「外国人宿泊者数」は新型コロナウイルス感染症の5類移行や、令和5年10月30日に長崎空港の国際線が再開したことにより前年度実績値を上回ったものの、国際線の就航は地上支援業務（グランドハンドリング）の人員不足のため長崎と上海を結ぶ、週2回の1日2便となり、インバウンドの受入れなどの状況改善までには至らず、目標値を下回った。
- ③ 「観光ボランティアガイドの会員数」は、前年度実績値1減に加え、会員の高齢化や新規会員の確保などの課題があり、目標値は下回った。

施策経費

(単位:千円)		R5年度 決算	R6年度 予算	R7年度 見込	特記事項
内訳	事業費	84,528	231,871	225,559	
	国庫支出金	433	63,772	68,913	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	2,836	26,918	3,592	
	一般財源	81,259	141,181	153,054	
	人件費	11,102	17,209	—	
フルコスト	95,630	249,080	—		

施策の概要（細施策）

160201	観光地の魅力向上	大村公園をはじめとする自然豊かな観光地の魅力向上を図るため、「オオムラザクラ」や「クシマザクラ」、季節の花々などを植栽するなど、四季を通して楽しめる取組を推進します。 また、日本遺産に登録されたシュガーロード（長崎街道）をはじめ、玖島城跡や武家屋敷街、日本初のキリシタン大名「大村純忠」、天正遣欧少年使節など、各種の観光資源の効果的な活用を図るとともに、市民にも親しまれる魅力ある観光地づくりを進めます。
160202	観光基盤の整備	市内を訪れる観光客が安心して快適に観光できるよう、Wi-Fi環境、トイレ、駐車場など計画的な基盤整備に努めます。 また、アウトドアアクティビティを推進するため、関連施設の整備を促進します。
160203	情報発信・プロモーション活動の強化	国内外の観光客の誘客を図るため、ホームページやパンフレット、ガイドブックなど各種広報媒体を整備し、インバウンド対策として、多言語による情報発信やPRを強化します。 また、ターゲットを明確にした、きめ細かで戦略的なプロモーション活動を強化します。
160204	観光推進体制の充実と人材育成	市民や観光関連団体、ホテルや飲食店等の事業者、行政など、官民一体となった観光地域づくりを推進します。 また、観光客の受入環境の強化を図るため、修学旅行の実施に対する助成等を行うとともに、観光ボランティアガイドの養成など観光人材の育成に努めます。

**【CHECK（評価）施策担当部長】**

**施策を達成する上での問題点・課題**

**【観光地の魅力向上】**  
 本市のキリシタンの歴史と世界文化遺産である”長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産”とを、長崎空港を利用する観光客のプラスワンの訪問先となるよう関連付けるほか、日本遺産のシュガーロードや大村公園（玖島城跡）の花を活用し、観光客を周遊させる仕組みやさらなる認知度向上に取り組む必要がある。

**【観光基盤の整備】**  
 観光客の利便性向上のため、野岳湖公園などの観光施設へのWiFi整備や依然として人気が高いキャンプなどのアウトドアアクティビティ施設の整備に向けて引き続き取り組む必要がある。

**【情報発信・プロモーション活動の強化】**  
 観光客の需要とミスマッチが生じないよう世の中のトレンドを的確に捉え、既存の観光マップの見直しや地域おこし協力隊を活用した情報発信などに取り組む必要がある。

**【観光推進体制の充実と人材育成】**  
 アフターコロナでイベントの開催等が活発化するなど、自治体間競争が激しくなっているため、観光関連団体との連携を深める必要がある。また、人材育成については、観光ボランティアの高齢化など問題はありますが、さしあたっては新規入会者を確保する必要がある。

**【ACTION（改善・改革）】**

**上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方**

**【観光地の魅力向上】**  
 本市がプラスワンの訪問先となるよう包括連携協定を締結している（株）ゼンリンのストローカルの活用や地域おこし協力隊によるソトモノ目線を生かした情報発信などに取り組むことで、観光客の周遊や本市の認知度向上につなげる。

**【観光基盤の整備】**  
 キャンプなどのアウトドアアクティビティ施設、特に、「自然共生型アウトドア施設整備事業」については、整備地が市北部の野岳湖公園に隣接する場所であることから、グリーン・ツーリズム推進協議会などの団体との情報共有を図りながら、最大限の効果を上げることができるよう取り組むほか、主要観光施設へのWiFi整備にも取り組む。

**【情報発信・プロモーション活動の強化】**  
 既存の観光マップの見直しや地域おこし協力隊を活用し、ソトモノ目線での大村の魅力等をSNSなどによる情報発信などに取り組む。

**【観光推進体制の充実と人材育成】**  
 イベント等の開催にあたっては、観光関連団体との連携や、地域おこし協力隊を活用した情報発信など、近隣のイベントとの差別化に取り組む。また、人材育成については、観光ボランティアの新規入会者の確保については、地域おこし協力隊やインスタグラム等のSNSを活用し、活動状況の情報発信に取り組む。

**令和7年度新規事業**

事業名	担当課	令和7年度見込		対象・事業概要など
		事業費（千円）		
1				
2				
3				
4				
5				
		0		